



評価計画				自己評価			外部評価					
重点目標	短期(本年度)努力目標	目標達成のための方策	担当及び主管	取組と達成状況	評価達成度	改善策	学校関係者評価 11名					提言・コメント
							A	B	C	D	E	
4. 人権教育、道徳教育、特別支援教育の推進	①あらゆる教育活動を通し、人権意識・共生意識を育み、社会性を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に各学年で人権・同和教育LHRを実施する。</li> <li>定期的に入権・同和教育だよりを発行する。</li> <li>教職員を対象に入権・同和教育の研修会を実施する。</li> </ul>	人権同和教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路について選考結果に大きな問題はなかった。</li> <li>LHRの指導案の内容について調整した。</li> <li>人権・同和教育だよりの発行回数が少なかった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>LHRなどで生徒への啓発を継続して行ってほしい。</li> <li>人権・同和教育だよりを少なくとも学期に1回の発行を目指す。</li> </ul>		8	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校重点目標5について</li> <li>・幼小中との関わりや、地域の企業や研究機関等との連携が多く見られ、今後も引き続き、生徒たちの学びを広げてほしいなと思います。</li> <li>・積極的に活動されており、また盛況に開催される生徒からもやりがいをもって参加していることを感じる。</li> <li>・コンソーシアムと共に水産高校の魅力を発信され、生徒も商品開発などの取り組みを頑張っている。</li> <li>・食品流通科の内容として地元の力を借りて開発製造に力を入れてより良い食品を考えて欲しい。</li> <li>・SuiSuiペーパーには写真が多いので良い。</li> <li>・体験入学の参加人数の増加を図る。</li> <li>・校外での学習発表会・実習製品の販売活動は広く市民に水高の教育活動を理解してもらうのに効果的である。</li> <li>・課題研究等、年々その質があがり、成果が色々と認められていることは素晴らしい。「水産浜田」の今と未来を自分の言葉で熱く語る生徒が育って欲しい。</li> <li>・学校の施設・設備を活用した関係機関との連携事業を継続して実施してほしい。</li> <li>●学校重点目標6について</li> <li>・他の水産高校に比べるとInstagramの発信が少なく感じる。動画が増えると良い。</li> <li>・日本を取り巻く情勢が激変している。学校も更なる生きる力の育成が求められる。</li> <li>・SNS等による情報発信はより慎重に取り扱うべきで家庭状況によっては、個人を特定されないように現状も気をつけていると思うが今後も注意して欲しい。</li> <li>・情報発信（K科、S科、弓道部、神海丸など）に努める。</li> <li>・「浜田水産高校のオリジナリティ」と「他の水産高校と共通して求められるスキルの育成の対応状況」の双方について、発信していくと良いと思う。</li> <li>・SuiSuiペーパーは、「わかりやすく読みやすく」を意識して作成されていて良いと思う。</li> </ul>
	②校内組織および支援体制を充実し、研修や啓蒙など計画的な取り組みを行う。	人権同和教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>貧困問題を意識しながら、子どもの権利条約や進路保障に関する研修を計画した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健部や生徒部と連携して障がいのある方やSNSのトラブルについての情報を発信してほしい。</li> <li>・楽しい雰囲気職場になるよう、引き続き取り組んでほしい。</li> </ul>		8			3		
5. 水産・海洋教育を担う学校づくりの推進	①魅力ある教育活動を積極的に情報発信し、生徒募集に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンスクール、ホームページ・SNS等を充実させ、生徒募集を活発化する。</li> <li>・園児・中学生の体験航海を充実させる。</li> <li>・課題研究では、すべての活動について外部と連携したものとする。</li> <li>・生徒自身が出前授業や出迎え授業を行い、本科の取り組みを伝える。</li> <li>・生徒が主体的に地域活動へ参加できる取り組みを行う。</li> </ul>	総務 各科	<ul style="list-style-type: none"> <li>suisuiペーパーは毎月作成し、地域の方から好評であった。</li> <li>・予定した体験航海は実施することができた。</li> <li>・課題研究等で地域の企業と連携した取り組みが増え、生徒と大人との関わる場面が増えた。</li> <li>・市内の出前授業数を増やすことができなかった。</li> </ul>	B+	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校案内もページを増やし、より多くの学校情報の発信を継続していく。</li> <li>・市内の出前授業や出迎え授業をPRして一つでも多く増やす。</li> <li>・生徒や地域の方の写真の掲載等に気をつけ、引き続き積極的に発信を行いたい。</li> </ul>	5	6				
	②コンソーシアム、学校運営協議会と連携をし、地域との繋がりをよりいっそう深め、開かれた学校づくりを推進する。	各科 舎務	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の出前授業数は増やすことはできなかったが、出迎え授業は昨年度より多く実施できた。</li> <li>・今年度も「しまねふるさとフェア」「水高祭」「まちづくりセンターの連携事業」等のイベントに参加し地域連携を行った。</li> <li>・寮生の地域活動へ例年以上に生徒自らが自主的に参加することができた。</li> </ul>	B+	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も寮生から様々な企画提案を発信できるよう取り組む。</li> <li>・活動の様子をInstagram等への更新を滞っていたので、来年度は積極的に発信していききたい。</li> </ul>	4	7					
6. 新しい時代に対応した取り組みの展開	①保護者連絡のデジタル化について、適切に推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業、教員研修などを通し、ICTスキルの向上を図り、授業改善に繋げる。</li> <li>・SNSを利用した定期的な発信と周知を行う。</li> <li>・総合選抜入試・入学者選抜業務を円滑に行う。</li> </ul>	教務	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器の活用した公開授業等により、スキルアップはできている。</li> <li>・校務においても活用の幅が広がっている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT支援員との連携により、業務改善を目指していききたい。</li> </ul>	1	10				
	②教職員のICTスキルの向上を図り、より一層授業改善や業務改善に繋げる。	各科	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の様子を関係者間で共有し、学習環境を整えた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>Instagramの更新が滞った時期があったので、工夫しながら更新する。</li> </ul>		11					
	③SNSを利用した情報発信に取り組む。	各科	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNS等を活用した情報発信については、各科、学校として概ね発信できていた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>動画の閲覧数は静止画より多いので、動画の投稿数を積極的に増やす。</li> </ul>	6	5					
	④新しい時代に対応した学科のあり方の検討を進める。	教務	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たなシステムでの入試になり、不安要素はまだあるが、対応できていた。</li> </ul>	B+	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の結果を検証し、次年度の選抜方法等について検討する。</li> </ul>		10		1			